

公益社団法人乙訓青年会議所 広報誌

**FMおとくに(86.2MHz)**  
**2018年12月2日(日)開局予定!!**



公益社團法人乙訓青年會議所  
第三十九代理事長

木本直樹様

## 理事長対談 木本直樹専務理事(FMおとくに)×崔祥龍理事長

(崔理事長) 一般社団法人 FMおと

住民への情報伝達手段として非常に有

で勤めながらでは難しいと考えました。乙

乙訓  
青年会議所  
ホームページ

100

(FMおとくに木本専務) 元々は長岡京市で職員をしていたのですが、退職する足後の年に防災に関する部署を経験させて頂き、防災について感じたことがありました。それは、この京都という場所は比較的安全なところであり、リスクの高い都道府県と比較して「災害に対しての情報の伝達手段が未整備である」ということです。東日本大震災の際に臨時に灾害FMとして、被災地に多くのコミュニケーションが立ち上がりつたように

(崔理事長) 我々は仕事の傍らで地域での活動をしているのですが、木本さんは職を辞してまでそこに懸けられたということです。どういったことから一歩踏み出そうと思われたのですか。

(FMおとくに木本専務) 仕事に対しての考え方ですが、一人ではなくにもできないと思っています。一方で成果として何かを残したいという想いがあります。「コミュニティFM」を立ち上

（准理事長）構想というのは元々あつたのですが、（FMおとくに木本専務）コミュニティFMとして与えられるものだったで、そういういたりのコミュニティFMとして始めようと思つて、（FMおとくに木本専務）長岡市はそれほど大きな地域ではなくなります。ニュニティFMは、運営にあたる獲得するためには最低でも人口が十五万人は必要が分かってきました。そこで乙訓地域全体で、五万人程度ということで、乙訓でできないかとふきました。ではどうやって乙訓地域でやっていきますが、乙訓地域は、消防組合やごみの収集など、

。そして社  
た方が力を有  
りませんで  
る市町村に対し  
から長岡京市  
ました。しか  
も八万人ほ  
ポンサーを  
ということ  
ど人口が十  
流れになり  
ということ  
しても乙訓  
高

（裏面に続く）  
えています。  
考えています。中学生の職業体験等を受け入れる仕組みも考  
えています。

会昌募集

## 情熱伝播委員会!!

**今年度25名の会員拡大を目指して熱く活動してまいります!**

新入会員紹介

おくだ まさき  
奥田 政樹

1988年 2月 3日生

